

平成30年度決算の概要



三木市 Miki City

目次

- 1 一般会計の決算総括
- 2 一般会計の決算内訳
- 3 一般会計の市債残高と基金残高の推移
- 4 財政健全化指標
- 5 特別会計の決算
- 6 企業会計の決算

(参考) 北播磨総合医療センター企業団の決算

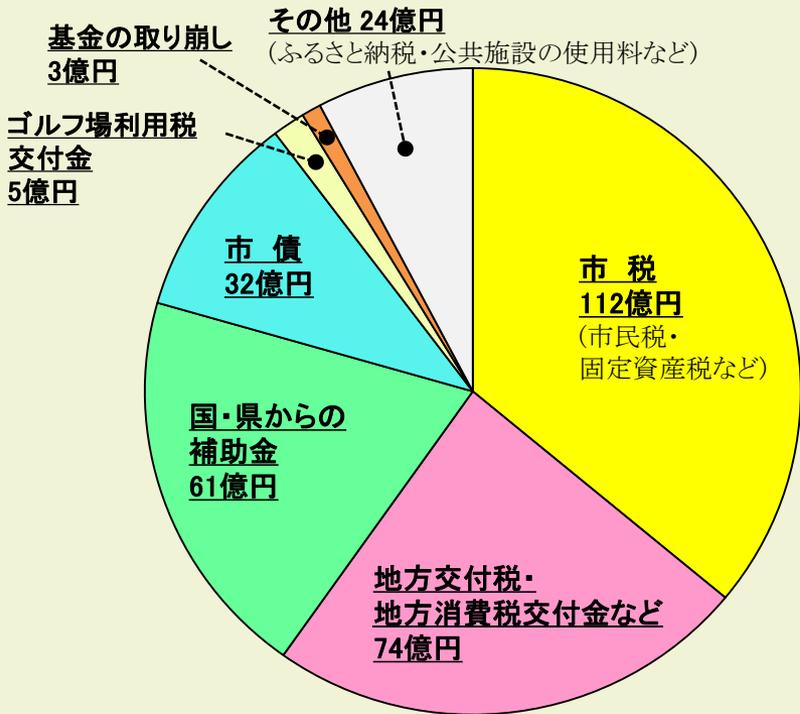
1 一般会計の決算総括

- 平成30年度は、総合体育館や別所ゆめ街道など大型事業の完了により、収入・支出ともに前年度に比べて約24億円減少
- 一般会計の決算見込のうち、収入と支出の差引額は2.7億円であり、翌年度へ繰り越す財源を差し引いた実質的な収支は5千万円の黒字
- 国・県の財政支援を最大限に活用して財源確保に努めつつ、これまで先送りしてきた公共施設や設備の改修を推進

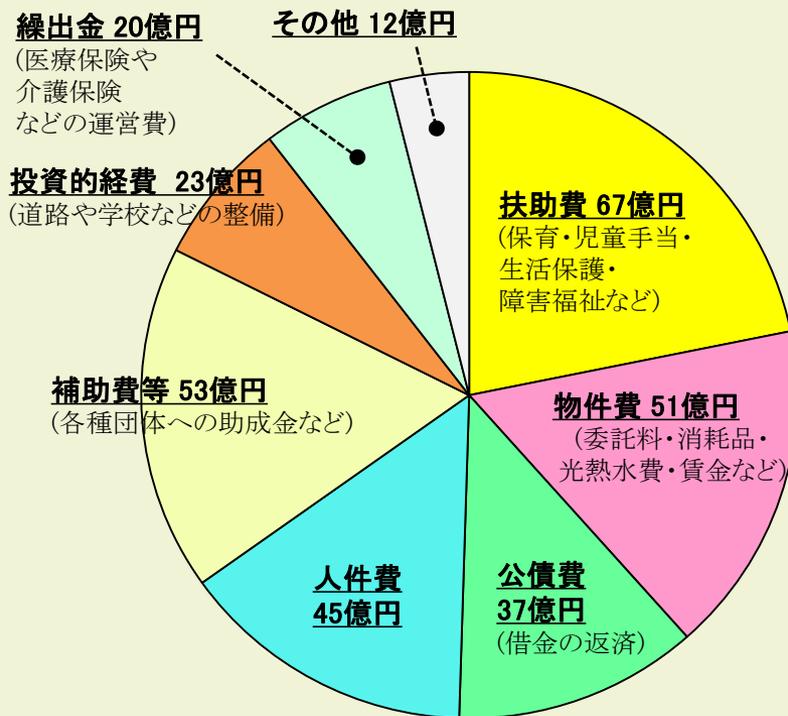
区 分	平成30年度 決算見込額 A	平成29年度 決 算 額 B	増 減 額 (A - B)
収 入 額 ①	310億9,892万円	334億4,981万円	△ 23億5,089万円
(うち基金繰入額)	(2.5億円)	(1億円)	(1.5億円)
支 出 額 ②	308億2,481万円	332億3,725万円	△ 24億1,244万円
収支差引額 (① - ②) ③	2億7,411万円	2億1256万円	6,155万円
翌年度へ繰り越す財源 ④	2億2,314万円	1億1,134万円	1億1,180万円
実質収支額 (③ - ④) ⑤	5,097万円	1億 122万円	△ 5,025万円

2 一般会計の決算内訳

歳入(311億円)



歳出(308億円)



決算の特徴

- 市税収入は、土地の評価替えによる評価額の減少などにより、前年度より2.4億円減少
- 地方交付税は、障害児保育費の算入による基準財政需要額の増加などで、前年度より1.8億円増加
- ふるさと納税寄附金は、前年度に比べて8千万円増加の2.6億円を確保

- 人件費は、再任用制度の導入により、前年度より1.3億円増加
- 災害復旧費は、7月豪雨や台風で被害を受けた施設等の復旧のため、前年度より2.2億円増加(年度内に完了せず次年度に執行する額10.3億円を除く)
- 一般会計から国民健康保険特別会計への繰出金が前年度より1.1億円増加

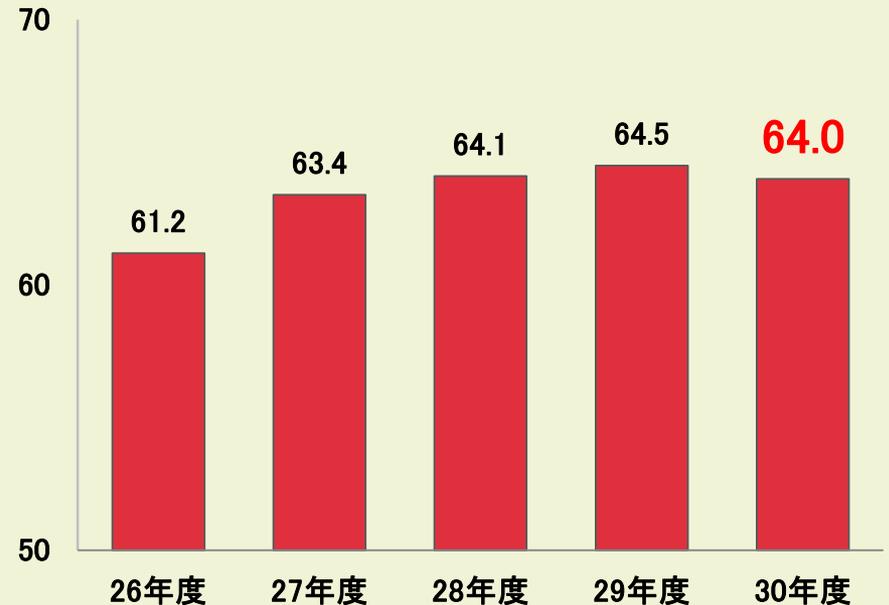
3 一般会計の市債残高と基金残高の推移

- 市債の残高は、総合体育館などの大型事業の完了等に伴い発行額が前年度より減少したことから、2億円減少の388億円
- 基金の残高は、前年度決算の黒字額やふるさと納税寄附金など2億円を積み立てる一方、各種事業に活用するため2億5千万円を取り崩したことにより、前年度より5千万円減少の64億円

市債残高 (単位:億円)



基金残高 (単位:億円)



4 財政健全化指標

- 実質赤字比率・連結実質赤字比率は、黒字決算のため該当なし
- 実質公債費比率は3.3%であり、前年度から0.5%改善
- 将来負担比率は41.5%であり、前年度から3.5%改善
- 経常収支比率は、人件費の増加や市税収入の減少などにより0.8%悪化

(単位：%)

区 分	三 木 市			国の定める基準値	
	30年度 (A)	29年度 (B)	差 引 (A-B)	早期健全化 基準	財政再生 基準
実 質 赤 字 比 率	—	—	—	12.55	20.00
連 結 実 質 赤 字 比 率	—	—	—	17.55	30.00
実 質 公 債 費 比 率 (3 か 年 平 均)	3.3	3.8	△ 0.5	25.0	35.0
将 来 負 担 比 率	41.5	45.0	△ 3.5	350.0	
経 常 収 支 比 率	92.0	91.2	+ 0.8		

「—」は、黒字決算のため該当なし

5 特別会計の決算

- 特別会計は、国民健康保険特別会計をのぞく全会計が黒字決算
- 国民健康保険特別会計は、保険加入者数の減少にともない、保険税収が見込みを下回ったため、1,859万円の赤字（不足分は翌年度予算を繰り上げて補てん）
- 介護保険特別会計は、介護予防に向けた取り組みを進めたことなどで、計画よりも介護給付費の伸びが抑えられたため、2.9億円の黒字

区 分	平成30年度決算					(参考) 平成29年度 実質収支額
	収入額 (A)	支出額 (B)	収支差引額 (C=A-B)	翌年度へ 繰り越す財源 (D)	実質収支額 (E=C-D)	
国民健康保険	96億5,866万円	96億7,725万円	△ 1,859万円	0	△ 1,859万円	1億 727万円
介護保険	70億1,345万円	67億2,301万円	2億9,044万円	0	2億9,044万円	3億1,836万円
農業共済事業	7,554万円	7,551万円	3万円	0	3万円	1万円
後期高齢者医療事業	12億8,010万円	12億5,186万円	2,824万円	0	2,824万円	3,423万円
学校給食事業	2億7,487万円	2億7,225万円	262万円	0	262万円	71万円

6 企業会計の決算

- 水道事業会計は、収益面で市内人口の減少などにより給水収益が減少したことなどから、当年度純損益は前年度より2千万円少ない3億円の黒字
- 下水道事業会計は、費用面で借金残高の減少等にともない利息の支払いが減ったことなどにより、当年度純損益は前年度より8千万円多い1.8億円の黒字

区 分		平成30年度			(参考) 平成29年度 収 支 額
		収 入 額 (A)	支 出 額 (B)	収 支 額 (C=A-B)	
水道事業	収益的収支	18億5,121万円	15億4,954万円	3億 167万円	3億2,045万円
	資本的収支	1億3,485万円	4億9,185万円	△ 3億5,700万円	△ 2億6,252万円
下水道事業	収益的収支	25億5,024万円	23億7,068万円	1億7,956万円	9,506万円
	資本的収支	15億8,685万円	23億6,632万円	△ 7億7,947万円	△ 6億3,738万円

(金額は税抜き)

(参考)

北播磨総合医療センター企業団の決算

- 入院・外来の患者数が順調に増加したことから、経常損益は3.4億円、純損益は2.1億円の黒字となり、3年連続黒字を達成
- 安全安心な医療の提供と患者満足度を高めるとともに、職員確保、就業環境を改善するため職員宿舎や病児保育室などの整備工事を実施

区 分	30年度 (A)	29年度 (B)	増 減 (A-B)
病院事業収益	173.1億円	163.2億円	9.9億円
うち入院収益	106.9億円	101.3億円	5.6億円
うち外来収益	38.7億円	34.5億円	4.2億円
病院事業費用	171.0億円	162.6億円	8.4億円
うち職員給与費	68.0億円	65.9億円	2.1億円
うち材料費	47.6億円	42.9億円	4.7億円
経常損益	3.4億円	0.7億円	2.7億円
純 損 益	2.1億円	0.5億円	1.6億円

項 目	30年度 (A)	29年度 (B)	増 減 (A-B)	
入院	患者数 (1日当たり)	400人	395人	5人
	平均単価	73,168円	70,169円	2,999円
外来	患者数 (1日当たり)	1,004人	958人	46人
	平均単価	15,804円	14,755円	1,049円
内部留保資金	4.8億円	2.6億円	2.2億円	

(数値は税抜き)